と思ふ其 を知て居 を持たし 操くとか、 を吹て居 と思ふ「 御幣を持 ふのは面 を弱らし と云たお マヘンと 女がつく て始終不 體中津の 度がチャ 當に瀞い 上、小供 成して上 の者に向 に對して てと云へ う爲やれ ない只 るから如 其癖今の 學校に行 何時でも も負けは 遊ぶ小供 を持て横 ぬ況して 々に貴賤 えて居る て少し學 し遣たら 衆と認 私は之を かある馬 のか如何 様がない ア私も次 の中の事 どに[illegible] 讀む男が をと話し かいろ 私は始終 馬鹿々々 をしても て仕舞ふ 宜いと侮 ア私の生 せう或時 さずと云

ふ一何を讀で其時にハット思ふて大に自分で安心決定したことがある「是れはドウモ金言だと思ひ始終忘れぬやうにして獨り此教を守りソコデ誰が何と云て賞めて呉れても唯表面に程よく受けて心の中には決して喜ばぬ又何と輕蔑されても決して怒らない、どんな事があつても怒つた事はない況や朋輩同士で喧嘩をしたと云ふことは只の一度もない、ツイゾ人と摑合つたの、打つたの、打たれたのと云ふことは一寸ともない、是れは少年の時ばかりでない少年の時分から老年の今日に至るまで私の手は怒に乘じて人の身體に觸れたことはない、所が先年二十何年前、塾の書生に何とも仕方のない放蕩者があつて私が多年衣食を授けて世話をして遣るにも拘はらず再三再四の不埒、或るとき其者が何處に何をしたか夜中酒に醉て生意氣な風をして歸て來たゆゑ貴様は今夜寢ることはならぬ起きてチャント正座して居ろと申渡して置て少して行て見ればグウ／＼鼾をして居る、此不埒者めと云て其肩の處をつらまへて引起して目の醒めてるのを倚はグン／＼ゆたぶつて遣たことがある其時跡で獨り考へて「コリヤ惡い事をした乃公は生涯、人に向て此方から腕力を仕掛けたやうなことはなかつたに今夜は氣に濟まぬ事をしたと思て何だか坊主が戒律でも破たやうな心地がして今に忘れることが出來ません、其癖私は少年の時から能く曉舌り、人並よりか口數の多い程に曉舌つて爾うして何でも爲ることは甲斐々々しく遣て決して人に負けないけれども書生流儀の議論と云ふことをしない假令ひ議論すればと云てもほんたうに顏を赧らめて如何あつても勝たなければならぬと云ふ議論をしたことはない、何か議論を始めて、ひどく相手の者が躍起となつて來れば此方はスラリと流して仕舞ふ「彼の馬鹿が何を馬鹿を云て居るのだと斯う思て頓と深く立入ると云ふことは決して遣らなかつた、ソレでモウ自分の一身は何處に行て如何な辛苦も厭はぬ唯この中津に居ないで如何かして出て行きたいものだと獨り夫ればかり祈つて居た處がどうと長崎に行くことが出來ました

（幼少の時、終り）

社說

米西戰爭の終局

近報に據ればキューバ嶋サンチャゴ灣に立籠りし西班牙艦隊は米艦の爲めに打破られ殆んど全滅に歸したりと云ふ蓋し此艦隊は西班牙海軍の粹にして其運動は人々の注目する所なりしに脆くも一戰に亡びたるは[illegible]なきの甚だしきものにして西米の[illegible]と云ふも可なり或はキューバ嶋內には尙ほ多數の陸兵あり容易に降參せざるやも知る可らざれども海上權が敵の手に歸したる上は最早や嚢中の鼠にして如何ともす可らず早晩媾和談判を開くことならん其條件は固より豫め知る可らざれども元と此戰爭はキューバを救ふの目的より出でたるものなれば戰勝自然の結果として米國の後見の下に之を獨立せしむるか然らざれば其一州として合併せらるゝことならん西班牙の爲めには氣の毒なれども多年、其暴政に苦められたる不幸の嶋民が一朝自由の民と爲るは誠に喜ばしき次第にして世界文明の爲めにも慶賀せざるを得ず土地豐饒にして富源深く人民は自治の力を備ふるにも拘はらず之を束縛して自由の運動を許さず一方は羈絆を脫せんとし他の一方は抑壓せんとして騷亂絶えず天惠の富源も開くによしなく人民の次第に疲弊する其有様は譬へば幼子女が慘酷なる繼母に虐待せられて碌々衣食を得ず立派に發育す可き資質を備ふるにも拘はらず身體精神共に衰弱して氣息奄々たるもの〻如し如何にも堪へ難き次第にして米人が義憤禁ずる能はず身を挺して敢て無道なる繼母の手より可憐の子供を救ひしは近來の快事と云ふ可し我輩の同情を表するに躊躇せざる所なりキューバの問題は斯の如くに定まるものとして次にフヰリッピンの處分は如何、若しも米國政府が其屬地として永く之を支配せんか我輩に於ては固より異議なし戰勝國が其勝利の結果を收むるは至當の事なるのみならず米人は元來平和を愛する人民にして野心少なきものなり若しも群嶋を擧て此國民に託し其智識と資本とを以て之を開拓せしめなば荒野は變じて沃田と爲り商賣工業も繁昌して嶋民は其賜に依ると共に近隣の國民も亦自から益する所ある可し然れども米國は果して之を所有するの意なるや否や曾てマニラ艦隊の破れしとき米國政府は萬一西班牙が償金を拂はざるに於てはフヰリッピンを賣却するならんとの風說もありしのみならず數千里外の遠方より野心國の垂涎する新領地を支配するは實際に困難多きことなれば土地に飢ゑざる米國は或は之を領有するの意なかる可し果して其意なくんば我輩は寧ろ獨立國たらしめんと欲する其次第は若しも野心勃々たる强國が此地に割據して砲臺を築き軍艦を浮べ石炭を貯へ兵器製造所を設けて勢力を振へば我は恰も目前に勁敵を控ふるものにして絶えず平和を脅さるゝ中にも殊に臺灣は新附の地にして人民は動もすれば動搖することなれば其防備に非常の困難を感ぜざるを得ず他國の野心は斷じて排せざる可らず米西戰爭は終を告ぐるもフヰリッピン問題は定まらざる可し否な戰爭の終局と共にいよ／＼頭を擡げ來ることならん當局者の深く用意す可き所なり

○板垣內務大臣の演說（承前）

夫れから又諸君に御願ひ致したいと云ふのは衛生の事でありますが衛生事務の國家生存發達の上に於て至大の關係を持つと云ふ事は申さずとも諸君の御承知の事でありますが彼の「ペスト」は支那沿海に蔓延して我が臺灣地方に蔓延して參り動もすれば內地に侵入する勢があるのであります又赤痢病の流行は年々に增加を致して參つて其病源地は或は九州に在ると云ひ又は四國に在ると云ふ事でありますが兎に角次第に近畿東北に蔓延して來る勢であります又虎列剌病は數年を隔て殘暴を逞ましうするは諸君の御承知の事であります今は此の發生期に際して居りますれば若し茲に發生する時は其散蔓せざるに先つて早く之を撲滅すれば撲滅が出來るも一たび蔓延しては誠に致し方ないものである然るに聞く所に依りますれば初めの內は此病に罹つたることを隱す斯う云ふ事から散蔓することがある是等は最も行政上に於て注意すべき事であらうと思ひます眞性虎列剌が先般盤谷より香港に參つた所の船に發生しまして四十五名も患者を生じたと云ふ事であります又今年三月に横濱に於て三名の眞性虎列剌があつた是は全く撲滅致したに付て先づ撲滅が出來たと云ふ積りで居るさうであります斯の如きの勢であります夫れから此種の患者はどう云ふ所に多いかと云へば細民であります即ち此細民は勞働者勞働者は即ち國の富源斯う云ふ譯であつて見れば實に恐るべきであつて充分の注意をせぬければならぬと思ひます既に昨年は大に東北に侵入しまして患者が九萬千三十九人死亡者が二萬三千百七十八人に及びましたのであります又山梨縣の北都留郡の如きに於きましては六十餘萬圓の損害がある成程さうでございませう養蠶期でございますから斯う云ふ害の多いものである然るに之を防ぎまするには港に於て檢疫所を設けると清潔法を行ふとにあるのでございます又昨年天然痘が流行致しましたが此患者も實に夥しい四萬一千九百四十六人の患者で死亡が一萬二千二百七十六人と云ふ數であります夫れから聞く所に依りまするとと之に比較して實に我が手本とすべきものは獨逸であります獨逸は流行の時に於ても僅か六人の天然痘が出來る斯う云ふ事は全く此種痘の法を設けあるにも拘はらず夫れが實際行はれぬと云ふ我邦の有様であると言はなければならぬのであります是等に付ては充分に行政官に於て注意すべき事であります又此赤痢の防疫を爲すに就きましては檢疫部を樞要の地に設ける積りでありますから其地に當つた所の地方長官諸君は充分御盡力あらんことを希望します又是に就きましても猶委しい事は衛生局長と打合せになりまするのも宜しうございませう又之に付て御質問なさるも宜からうと思ひます何れに致しても大に御盡力を希望致すのでございます

（終り）

○和歌山の同窓會歡迎會

過般來九州地方巡回中なりし慶應義塾々長鎌田榮吉氏及び本社員高見龜氏の一行は四五日前同地方より歸東の途に就き京阪滯留の當時在和歌山市の義塾出身者は之を聞き是非とも立寄らるべき旨を電報にて照會したるに右の一行が歸京する迄の時日は大抵各地の同窓會に出席するの約束を爲し餘日を存せずとて折角の懇請なれば素氣なく辭するも不本意なりとし止むを得ず即日直に和歌山に向け出發したるが右の報に接するや同地の同窓者は他の同窓者にも通知し且つ準備に取掛りたれども何樣足元から鳥の立つ樣なる早急のことゝて少しにても離隔したるものは之を知るを得ず唯同市內の同窓者のみ集まりたるが之を聞きて同市の重立ちたる紳士參同者も加はりて歡迎旁懇親の宴を催すことに決定し本日午後七時鎌田氏一行の來着するや直に同市風月亭にて開宴したり席上發起人總代として森田氏開會の趣旨を述べ且つ來賓に向つて[illegible]次に鎌田[illegible]氏は小生が今回巡回せし目的を本日の如き席上に於て申上ぐるは稍や禮を失するの嫌なきにあらざれども强て清聽を[illegible]はさんとするは止むを得ざるに出づとの冒頭を置き先づ文明諸國の教育制度を詳述し延て我邦の現狀に及ぼし慶應義塾を擴張發達せしむるの最も急務なる次第を縷述し併せて基本金募集に付き贊助を求む是れ獨り義塾の爲めに非ずして社會進步の爲めに强て應分の盡力を求むるものなりと結論し非常の喝采を博せり夫より小笠原譽至夫氏は場の中央に進み出で滿場の列席者に諮りて曰く慶應義塾擴張の美擧なることは[illegible]に贊成の意を表しつゝありしが今鎌田氏の外國に於ける事情を聞きて一層其感を深くせり而して殊に諸君に望む所以は本縣は慶應義塾に最も深き緣故を有し一時は本縣人の同塾出身者最も多きを占めし位なるが今亦此の名譽ある塾長は矢張り我同縣人の鎌田氏之に鞅掌することゝなれり斯くの如く義塾と本縣とは非常に密接なる關係ありながら假令鎌田氏の此行たるや本縣にて基本金を募集するの眞意にあらずとするも我々は他縣の募集狀況を耳にして晏如たることを得んや去れば今後大に盡力すべきは勿論のことゝして今夕諸君の來會せられたるを好機とし何とか其方法を講ずることとしては如何と述べ大に滿場の注意を促し何れも拍手して贊成の意を表し夫れより其方法に付種々協議せしが結局委員を設けて大に運動することに決し其指名は當夕の發起人に委囑し尙は東京の本部にも交涉して充分盡力することに確定し十時過散會せり又た當日の發起者及び出席者は左の如し

發起人

中川壽六郎　中川三七　木村[illegible]雄
森田庄兵衛　吉田政之丞　辻　僩吉
猪本直次郎

出席者

兒玉豬吉　森　榮耀　宮本吉右衞門
山崎庄兵衛　功刀榮植　垂井瀧右衞門
片岡新太郎　田淵知秋　平田綱一郎
小笠原譽至夫　山本德藏　菊池萬藏
吉村萬次郎　久下豐忠　一色亮之進
曾野源太郎　山名松三郎　澤淵久太郎
森田熊之助

○義塾學資金募集協議會（大阪）

大阪にある慶應義塾同窓諸氏は今回小幡副社頭並に鎌田塾長が九州よりの歸途同地に立寄りしを幸ひ去る七日午後六時より平野町堺卯樓にて協議會を開き學資募集に關する萬般の打合を爲したるに出席者中進んで資金の寄附を申出づるものもあり且つ何れも募集方に付き盡力せんと述べ盃酒の間互に舊を談じ新を語りて散會せしは十時頃なりしと云ふ當日の出席者は左の如し

小鷹惠次郎　芳賀　彌吉　鎌田　榮吉
西川　[illegible]　[illegible]　佐々木勇太郎
外山[illegible]　[illegible]一郎　本山　彥一
尾田五十[illegible]　[illegible]
村田　[illegible]　石川　信[illegible]　梅田　秀松

[illegible]